

文化財通信

～平成21年 秋号～
(第1号)



文化財通信 ～平成21年秋号～ (第1号)

平成21年11月

京都府文化環境部文化環境総務課


〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入る藪ノ内町
TEL 075-414-4181 FAX 075-414-4187
Eメール bunkanso@pref.kyoto.lg.jp

平成23年度には国民文化祭・京都2011が開催されます



再生紙を使用しています

平成21年11月

 京 都 府

ごあいさつ

京都府では、かねてより京都の文化財を確実に将来の世代に伝えていくため、様々な施策に取り組んでまいりましたが、昨年4月に導入された「ふるさと納税制度」を活用して、歴史的建造物の保存・修理や防災対策などの「文化財保護」にその用途を限るという新たな制度を設けることとしました。このため全国唯一の「文化財を守り伝える京都府基金」を条例で設置し、京都の文化財を大切に思っている全国の多くの方々に寄附をお願いすることとしました。

おかげ様で全国から暖かい多くの寄附をこの基金にいただきましたが、ご協力をいただいた皆さまに、まず心からのお礼を申し上げますとともに、平成20年度の基金活動結果と平成21年度の活動計画などを「文化財通信」として御報告させていただくことにしました。御一読いただければ幸いです。また、今年度も寄附者の皆さまへは様々な文化体験事業も用意しておりますので、御参加いただければと思っております。

京都の文化財を守り伝える取組を多くの皆さんと手を携えながら広げていくことは、京都が日本人の「こころのふるさと」としてあり続ける上で、欠かすことのできないことであり、今後とも、積極的に取り組んでまいりたいと考えていますので、皆さま方の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成21年11月
京都府知事 山田 啓二



目次

トピックス	1
ご寄附で保護される京都の文化財	4
京都府の文化財を守り伝えるアピール	7
平成20年度「文化財を守り伝える京都府基金」活動報告	8

文化財

こぼれ話 1

○ 徐福、浦島、羽衣伝承（丹後）

丹後地域には多くの古代の伝承が伝わっています。

1. 伊根町の新井崎神社は、中国・秦の始皇帝に不老不死の仙薬を捜すよう命じられた徐福が、中国から船出して上陸したと伝承されている場所の一つで、海岸には徐福が上陸したという「箱岩」があります。
2. 浦島伝承は「浦島太郎」の昔話として有名で、全国にも長野県の寝覚めの床など多くの伝承の舞台があります。丹後の浦島伝承は、『日本書紀』や「丹後国風土記」逸文に記載された日本一古いもので、浦島子は蓬莱山（神仙の住む世界）で楽しい時を過ごしたのち、望郷の念にとらわれ、悲劇の結末を迎えます。この伝承は、宮津市の日置、伊根町筒川、本庄（宇良神社）、京丹後市網野（網野神社、鳥見神社）などに色濃く残っています。
3. 羽衣伝承も、静岡県三保松原、滋賀県余呉湖などに伝わりますが、「丹後国風土記」逸文では、天女は衣を隠されたので、しかたなく夫婦の養女となって、良い酒を造って養親を助けますが、その後は、養親から追い出され、付近の村を遍歴したという悲しい物語となっており、京丹後市の内記（天女が泣いた）、奈具（天女の心がなごんだ）などの地名の起源説話にもなっています。



宇良神社（伊根町字本庄浜）

[京都府立丹後郷土資料館提供]

トピック

○ 昨年度寄附で文化財保護を実施

昨年度(平成20年7月～21年3月)ご寄附いただいた皆様ありがとうございました！

昨年度お寄せいただいた寄附は 8,014,014 円でした。京都府は19件、16,000,000 円の文化財保護、継承の事業を実施します。(寄附のほぼ同額を京都府が上乘せ) ～P4 参照

「寄附で残す京都の文化財」にご協力を！

○ 今年寄附された方への京都文化体験は

今年(平成21年1月～平成21年12月)新たにご寄附いただいた皆様に、以下の貴重な京都文化の体験をご案内いたします。

なお、この体験は、基金支援のネットワークメンバーの皆様のご協力によるものです。

① 清水寺 春と秋の夜間拝観の寄附者限定内覧



清水寺では、毎年紅葉の11月、桜の3月に夜間拝観を実施され、約35万人が拝観されますが、その開始前日、ライトアップされながらも静謐な境内を散策・拝観し、古都の春・宵桜と秋・夜紅葉を一足先に満喫していただけます。

② 上賀茂神社 フタバアオイオーナーの募集・葵祭特別観覧

1400年の歴史を持つ格式高い葵祭は、『源氏物語』にも登場しますが、現在も新緑の京都を彩ります。「葵」は齋王代や女人列、牛車を飾ります。その葵を育て、葵を通して「祭」に親しんでみませんか。

さらに、特別桟敷での観覧にもご招待いたします。



③ 緑陰講座、特別拝観の実施

普段は公開されていない寺社仏閣などの文化財の中で、僧侶や神職の皆さんから心を込めた有意義な講話をうかがい、時代を超えてなお息づく京都の文化に身を置く豊かな時間を、体験していただけます。

④ 京都文化博物館特別展内覧会への通年御招待

京都府京都文化博物館で平成22年度中に開催される特別展の関係者限りの内覧会に通年ご招待し、幅広い京都の文化を鑑賞していただけます。(例:「冷泉家—王朝の和歌守展—」など)



⑤ 高僧の揮毫色紙贈呈

京都の文化財保護にご寄附いただいた方の篤志に感謝をこめて、府内寺院の高僧の皆さんが、色紙に揮毫されます。雄渾かつ奥深い書の文化に触れていただける墨跡豊かで貴重な直筆色紙を贈呈します。



臨済宗相国寺派管長
有馬 頼底 猥下

・贈呈する色紙を揮毫いただいた高僧の皆様

真言宗智山派管長・智積院化主	阿部 龍文 猥下
臨済宗相国寺派管長	有馬 頼底 猥下
真言宗泉涌寺派管長・泉涌寺長老	上村 貞郎 猥下
浄土宗西山禅林寺派管長・永観堂法主	小木曾 善龍 猥下
平等院住職	神居 文彰 猥下
臨済宗建仁寺派管長	小堀 泰巖 猥下
天台宗善光寺大勧進・貫主(宇治市宝壽寺)	小松 玄澄 猥下
真言宗大覚寺派管長・大覚寺門跡	下泉 恵尚 猥下
東寺真言宗管長・東寺長者	砂原 秀遍 猥下
高雄山神護寺山主	谷内 弘照 猥下
浄土門主・知恩院門跡	坪井 俊映 猥下
臨済宗妙心寺派管長	東海 大光 猥下
臨済宗南禅寺派管長	中村 文峰 猥下
真言宗御室派管長・仁和寺門跡	南 揚道 猥下
本山修験宗管長・聖護院門跡門主	宮城 泰年 猥下
北法相宗管長・清水寺貫主	森 清範 猥下

【50音順】

* ご寄附いただいた方には、アンケートをお届けいたしますので、上記のうちご希望の京都文化体験をご記入、ご連絡下さい。複数希望も可能ですが、多数の場合は抽選となりますのでご了承下さい。

なお、⑤につきましては、3万円以上ご寄附いただいた方全員に贈呈させていただくこととしております。

○ ネットワークメンバーの皆様による主な取組

— 京都の文化財を守り伝える京都府の取組を応援していただいている団体、企業様のネットワーク —

◆ 文化体験

前頁のとおり、清水寺様、上賀茂神社様、京都仏教会様、京都府神社庁様、京都文化博物館様のご協力をいただいております。

◆ 募金等による取組

いろいろな形で募金等に取り組み、その篤志を基金に寄附いただいております。

① 寺院等への募金箱の設置

(清水寺様、金閣寺様、銀閣寺様、教王護国寺様、大覚寺門跡様、泉涌寺様、仁和寺門跡様、妙法院三十三間堂様、三千院門跡様、青蓮院門跡様、東福寺様、南禅寺様、永観堂禅林寺様)

② 寄附機能付き自動販売機の導入

(コカ・コーラウエスト(株)様、(株)ハートフレンド様、近畿ペプシコーラ販売(株)様、京都府庁生活協同組合様、(財)京都府立植物園協力会様)

③ 企業キャンペーンによる基金寄附(アサヒビール(株)様) 等

◆ 広報の協力(ネットワークメンバーの皆様)

① ポスターの掲出やリーフレット、ハガキの配付

② 広告物、会報・社内報などへの登載 等

文化庁にも
ご協力いただ
いております！

◆ ネットワーク参加・協力をお願い

未来の日本にとっても大変有意義な社会貢献です。多くの皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

○ 京都府の主な取組

◆ 基金による助成事業の実施

・ 事業選定委員会の開催や交付決定、事業実施等

◆ ネットワーク会議の開催・協力調整

・ 広報物データの提供
・ 文化体験調整 等

◆ 寄附者への文化財通信の送付

・ ネットワークの活動報告や耳寄りな京都の文化財情報の提供

◆ 府広報紙やホームページ、文化イベント等での基金PR等

◆ 報道各社等への働きかけ

限定京都文化体験やネットワークについての問い合わせ先

京都府文化環境部文化環境総務課 TEL 414-4181

ご寄附で保護される京都の文化財

～平成21年度に実施する事業について～

○ 趣 旨

京都府では、国民的財産ともいえる京都府内の貴重な文化財を守り伝えるため、ふるさと納税制度を活用した全国唯一の取組になる「文化財を守り伝える京都府基金」を昨年7月に創設しました！

この基金等を活用して、貴重な京都府内の国、府の指定等文化財及び未指定の歴史的建造物などの保存修理、防災対策等に対し、その事業の緊急性や必要性などを考慮し、学識経験者による選定委員会の考えをお聞きして、今回初めて、事業を実施することになりました。

この制度を通じて、府民や国民の皆様の文化財に対する関心を深め、文化財を保護し、またこれを継承することが大切であるという意識が育つことを目的としています。

○ 今年度の基金活用事業(19件 16,000千円)

ご寄附ありがとう
ございました。

※寄附額+寄附同額の府予算で行います！

(1) 歴史的建造物など有形文化財の保存・修理事業：13件

社寺等名	所在地	対象事業の概要
清水寺	東山区	重要文化財・鎮守堂の檜皮葺の修理 写真1
知恩院	//	府指定文化財・四脚門の屋根瓦葺修理
六波羅蜜寺	//	重要文化財・本堂の縁周囲修理
豊国神社	//	国宝・唐門の檜皮葺修理
妙法院	//	本堂の天井修理
真正極楽寺	左京区	総門袖壁の修理、塗替
吉田神社	//	重要文化財・斎場所太元宮の縁周囲修理
金戒光明寺	//	府指定文化財・鐘楼の解体修理
法界寺	伏見区	国宝・阿弥陀堂の屋根災害復旧
萬福寺	宇治市	重要文化財・大雄宝殿の回廊屋根修理
萬壽院	//	府指定文化財・客殿の屋根の突風被害修理 写真2
石田神社	綾部市	重要文化財・恵比須神社本殿の壁板の修理 写真3
行永寿二郎	舞鶴市	重要文化財・行永家住宅の屋根修理等

(2)地震・火災等から有形文化財を守る事業：6件

社寺等名	所在地	対象事業の概要	
平安神宮	左京区	災害時の非常用発電機の修理	写真4
賀茂御祖神社	//	自動火災報知機設置等	
伏見稲荷大社	伏見区	同上	
誓澄寺	宇治市	同上	
念仏寺	城陽市	同上	写真5
正法寺	八幡市	消火設備改修	

(3)文化財保護のこころを育む事業

・今後、文化財保護に関する府民や観光客向け講演会、セミナー等を公募により選定、助成の予定

※詳しくは、府ホームページに公表いたします！

<http://www.pref.kyoto.jp/furusatokifu/index.html>

文化財を守り伝える京都府基金等事業費補助金選定委員会

氏名等		
委員長	村井 康彦	文化財を守り伝える京都府基金呼びかけ人 国際日本文化研究センター名誉教授
委員	永井 規男	関西大学名誉教授、NPO 古材文化の会会長 京都府文化財保護審議会会長
委員	土岐 憲三	立命館大学教授歴史都市防災研究センター長 NPO 災害から文化財を守る会理事長
委員	山内 修一	京都府文化環境部長

(敬称略)

写真1



世界文化遺産・清水寺(東山区)
重要文化財・鎮守堂
檜皮葺等の修理

写真2



萬壽院(宇治市)
府指定有形文化財・客殿
突風で倒れた大木による屋根破損の修理

写真3



石田神社(綾部市)
重要文化財・境内社恵比須神社本殿
アライグマによる壁板破損の修理

写真4



平安神宮(左京区)
境内の防災対策
(災害時の非常用発電機の修理)

写真5



念仏寺(城陽市)
境内の防火対策
(自動火災報知器設置等)

京都府の文化財を守り伝えるアピール

京都府は日本人のこころのふるさとである。悠久の歴史の中で世界に誇る文化が花開き、数多くの文化財が現代まで伝えられ、多くの人々を魅了し続けている。

京都の文化財を訪ねることは、日本の歴史を追体験することである。京都の四季が織りなす美しい景色のなかで文化財を眺めるとき、私たちは心の安寧と潤いを覚え、人とひととの絆の大切さを教えられる。

世界的に貴重な京都の文化財を保護し、次世代に良好な状態で伝えていくことは、現代に生きる私たちの責務であると同時にこの上ない誇りである。

そのために私たちは、京都を愛する人々と手を携え文化財を守り伝えていくことを、ここに決意する。

平成二十一年九月二日

文化財を守り伝える京都府基金ネットワーク・文化財保護会議

～文化財を守り伝える京都府基金ネットワーク・文化財保護会議の開催～

平成 21 年 9 月 2 日、「文化財を守り伝える京都府基金」の取組にご協力いただいている方々や府内の文化財保護にかかわっておられる方々約 100 名の参加を得て、「文化財を守り伝える京都府基金ネットワーク・文化財保護会議」を開催しました。

この会議で、上記の「京都府の文化財を守り伝えるアピール」が採択されました。



文化財を守り伝える京都府基金ネットワーク・文化財保護会議
(於：平安会館)

平成 20 年度「文化財を守り伝える京都府基金」活動報告

基金設置の初年度(平成 20 年度)には次のような活動を行いましたので、ご報告します！

○京都府の主な取組

●「文化財を守り伝える京都府基金条例」の制定

平成 20 年 7 月 18 日施行

京都府内の歴史的建造物などの貴重な文化財を、地震・火災等から守り、保存・修理するため条例を作りました！国内で唯一！

京都仏教会のほか、京都府神社庁、文化庁、文化関係団体、観光連盟など、約 70 の団体・企業が文化財基金活動にご協力をいただけることになりネットワーク会議を立ち上げました。

●京都府文化財基金ネットワーク会議

(日時)平成 20 年 8 月 5 日(火)
(場所)ルビノ京都堀川「平安の間」

●ポスターとリーフレット作成

このポスターが目印です



●清水寺での特別PRの実施

(日時)平成 20 年 11 月 6 日(木)
(場所)清水寺 奥の院



清水寺森貫主、文化庁苅谷文化財鑑査官、きものの女王と山田京都府知事が基金のPRはがきを配布しました。

●その他のPR

- ・京都府東京経済人会交流会でのPR
- ・文化財を守り伝える京都府基金推進員の任命(首都圏のPR)
- ・「東京新聞」(10/19)、雑誌「Leaf」、「京都NOW」への掲載
- ・『大人のウォーカー』、『旅サライ』への掲載
- ・情報誌『京都ぱど』への掲載
- ・ラジオ・テレビ出演
NHKニュース、KBS「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」、
αステーション「α-MORNING KYOTO」、京都三条ラジオカフェ
- ・府民だよりでのPR
- ・HPでのPR

○ネットワークメンバーの皆様による主な取組

◆文化体験

●「清水寺 春と秋・夜の特別拝観」限定内覧へのご招待

- (日 時) 春：平成21年3月27日(金)、秋：平成20年11月12日(水)
(場 所) 清水寺
(概 要) 恒例の「清水寺 春と秋・夜の特別拝観」(春：平成21年3月28日(土)～4月12日(日)、秋：平成20年11月13日(木)～12月7日(日))の前夜に、清水寺様のご協力により、寄附していただいた方に限定した夜間の内覧会を開催しましたところ、東京在住の方を含む計50名の方々が参加され、ライトアップされながらも静かな夜の清水寺を堪能されました。

●葵祭のフタバアオイオーナーの募集

- (募集日時) 平成21年1月5日(月)から2月27日(金)
(概 要) 寄附をされた方に、葵祭で用いられるフタバアオイのオーナーとなって育てていただき、千四百年の由緒ある祭に親しんでいただきました。オーナーの育てたフタバアオイを身に着けた行列が、平安時代の姿そのままに、新緑の都大路を進みました。
また、寄附された方々は、目前を葵祭の行列が進む上賀茂神社内の特別観覧席にご招待され、葵祭を満喫されました。

◆募金による取組



●京都仏教会の募金活動

- (日 時) 平成20年6月以降
(場 所) 清水寺・金閣寺・銀閣寺
(概 要) 募金箱を設置し、募金を府基金に寄附していただいております。

●コカ・コーラウエスト(株)の寄附機能付き自動販売機提供

- (設置日) 平成21年1月26日
(場 所) 第1号機 京都府立植物園正面前
(概 要) 独自デザイン・機能の自販機を提供。売上の一定割合を府基金に寄附。

●(株)ハートフレンド「スーパーフレスコ」の寄附機能付き自動販売機設置

- (設置日) 平成21年3月25日
(場 所) 第1号機 スーパーフレスコ五条西洞院店
(概 要) コカ・コーラウエスト株式会社の自販機を設置し、その売上げの一定割合を府基金に寄附



文化財

こぼれ話 2

○一条戻橋 (京都市上京区堀川下之町)

京都府庁の北西、堀川通と一条通の交差点東に「一条戻橋」があります。この橋は、平安京の北限に位置し、平安時代から戻橋と呼ばれ、場所も当時から同じで、現在も大木や柳が空を覆って独特の空気につつまれています。

古代から特別な橋として多くの怪奇な伝承を持ち、橋占いの場所でもありました。代表的な伝承としては、○平安時代の文章博士・三善清行の葬儀の列がこの橋に来た時、清行の最期に間に会わず、この橋で追いついた息子の浄蔵が一心に祈ると、清行は一時蘇った。○橋の西側には陰陽師、安倍晴明の邸宅(現在、晴明を祭る晴明神社が鎮座)があり、彼は、使役する式神をこの橋の下に置いていた。○源頼光の家臣の渡辺綱が夜中にこの橋のたもとで美しい女性に化けた鬼と出くわし、綱は鬼の腕を太刀で切り落としたなど、です。『源氏物語』では、六条御息所と葵上が賀茂祭の時、「車争い」(見物の場所争い)を起こしますが、戻橋付近がその舞台のイメージとして描かれたのではないかと考えられています。

なお、大正時代から平成7年まで架っていた橋は、晴明神社の境内に移築されています。



現在の一条戻橋 (京都市上京区)

◆広報の協力

●ネットワークメンバーの皆様によるポスター掲出・リーフレット配布のほか

- ・京都仏教会
応募ハガキ 180 万部(清水寺・金閣寺・銀閣寺)をはじめ、リーフレット 4 万部
配布、日本各地の催事において寄附の呼びかけ、会報への掲載

●会報等への掲載

- ・京都仏教会
『京都仏教会会報』で有馬頼底殿下による紹介
- ・京都府神社庁
『神社新報』平成 20 年 8 月号への掲載
- ・日本南画院
『日本南画院報』平成 20 年 7 月発行への掲載
- ・サンケイデザイン株式会社
京都紹介雑誌の紙面提供

●大学関係

- ・京都工芸繊維大学OB等・学生保護者会でのPR
- ・同志社大学校友会誌への掲載
- ・立命館大学東京キャンパス公開講座でのPR
- ・龍谷大学校友会誌への掲載、東京キャンパス公開講座でのPR
- ・京都府立医科大学
校友会誌への掲載・同誌郵送時リーフレット同封、会長からの呼びかけ文同封、校友会交流会での会長からの呼びかけ
- ・京都府立大学
校友会誌への掲載、校友会交流会での紹介及びリーフレット配布

●清水寺での特別PRへの協力(京都仏教会・清水寺・清水寺門前会)

●NPO災害から文化財を守る会

- ・第 12 回 地震火災フォーラム (6/28) 等での紹介及びリーフレット配布

●呼びかけ人の皆さま(50音順)

- 有馬 頼底 (京都仏教会理事長)
- 尾池 和夫 (京都大学前総長)
- 金田 章裕 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構機構長)
- 佐々木 丞平 (国立文化財機構理事長)
- 白幡 洋三郎 (国際日本文化研究センター教授)
- 千 玄室 (前・茶道裏千家家元)
- 土岐 憲三 (NPO 災害から文化財を守る会理事長、立命館大学歴史都市防災研究センター長)
- 村井 康彦 (京都市文化財保護審議会委員、財団法人京都文化財団文化財保護資金貸付審査委員会委員)

●平成 20 年度の寄附額など

京都府では、文化財保護に絞ってふるさと納税を活用した寄附をお願いしております。

寄附額 平成 20 年度 208 件 8,014,014 円

- 地域別 近畿圏 165 件、首都圏 31 件、その他 12 件
- メニュー別 ①京都市内の歴史的建造物などの有形文化財の保存・修理 38.2%
②地震・火災等から有形文化財を守るための事業 20.8%
③文化財保護のこころを育む事業 27.3%
④その他 13.7%

平成 21 年度 (10月末現在) 累計 20,584,524 円

ありがとう
ございます。

文化財

こぼれ話 3

○ 御土居 (京都市)

奈良・平城京や京都・平安京など日本古代の都(都城)は、天皇の住まいや儀式の場(宮)の外には、碁盤の目のように道路を配置するなど中国の都を模倣しましたが、日本には中国のように都の外周を囲む巨大な城壁は築かれませんでした。

しかし、近世になった天正 19 年(1591 年)、豊臣秀吉は、京都(洛中)の防御と水害防止などの目的で洛中を囲む長大な土塁を築きました。これが御土居で、東は鴨川、西は紙屋川、北は紫竹、鷹ヶ峯、南は九条に至り、総延長は約 23km に及びます。場所によって異なりますが、土塁の基底部の幅は約 9 m、高さは約 3 m、土塁の上には竹や木が植えられました。土塁の外側には、幅約 4 ~ 18m の堀があり、いわゆる「京の七口」という出入口(口)が 10 箇所ほど設けられていました(鞍馬口、大原口、大仏口、竹田口、東寺口、西七条口、三条口、二条口、嵯峨口、千本口で、現在の地名に残ります)。また、御土居の内を洛中、外を洛外とも呼ぶようにもなりました。

その後、鴨川の西堤の構築や京都の市街化で徐々に撤去されましたが、現在もその痕跡や地名などに残っており、9 箇所が国の史跡として公園などになっています。北野天満宮境内の御土居(国史跡)は梅園として有名です。その他、河原町通の広小路の北、府立医大の敷地端や北区の大宮交通公園などにも部分的に保存されています。何とJR 京都駅 0 番ホームの長いプラットホームは、御土居の堀の遺構です!



史跡御土居 (京都市北区)